



座光寺風景

獅子曳きに導かれた春祭りが4年ぶりに開催

すてきな春祭り

獅子曳きを
演じて

梅王

小4 檜原 歩（唐沢地区）

ぼくは、うめ王をえんじて、ししひきの3兄弟がメスのししを麻績神社へつれて行くのを初めて知りました。

おけいこが始まったばかりの時はむずかしくてできるか心配になったけど、おししゅうさん達が楽しく教えてくれて、何回もやるうちにできるようになりました。よい祭りの日はすぐくきんちようしたけど、本日は早くまいたい気持ちで起きました。くま取りやじゅんぴも楽しくて、友達とか、たくさんの人が見に来ておうえんしてくれてうれしかったです。やすひろくん、たいせいくんとはくで3兄弟ができて最高でした。

松王

小4 仁科 安弘（下羽場地区）

春祭り本番が始まる前は、いろんな人が見に来るからきんちようしました。見に来る人も友達もいっぱいいたけど、集中してがんばりました。おみ神社にもどってきて、桜がちる中、ししひきをした

桜丸

小4 黒川 泰生（高岡地区）

事と、おししが桜の中、石だんを上がって来たことが、心にのこりました。
さい後は、もう春祭りがおわっちゃう、おししゅうさんにもあえなくなっちゃうと、とてもさみしくなりました。ぼくは松王ができてよかったです。ありがとうございました。

ぼくは桜丸をやりました。春祭りの高岡の森から、おみ神社までのみちのりが暑くてしんどかったり、さいしよの休けいじよまでが長くて中つかれたりしました。でも、練習がすごく楽しかったので、本番もすごく楽しくできました。

あと、よい祭りよりも春祭りの方が友達がいっぱい見に来てくれていて、うれしかったです。気をつけようと思っただのは、もたもたせず「前へ」の合図にきつちりと反応してみんなについていこうという事です。うまくできていた時は「合わせられた！」と、うれしかったです。

令和5年度における

自治会活動方針

自治会長 牧野 光彰



第2次基本構想・基本計画は、令和4年度に各委員会・各団体・各地区から選出された皆さんにより、前期6年間で完了した事業を含め、5年間の総括に基づき見直しを行ってまいりました。今年度より、目指す将来像「あなたも私も暮らしやすい自然・歴史・文化・ものづくりが煌めく新舞台『麻績の里座光寺』」の後期計画の実現に向けて事業実施を進めるとともに、5委員会・5特別委員会は独自の活動とお互いに連携し、事業推進に努めます。また、令和3年度からの選出方法の変更より、継続性を担保した上で、事業内容・実施方法の見直しを行い、5委員会の定数の検証と必要に応じた見直しを行い、連絡会活動を通じて様々な情報を理解・共有し、まちづくりに努めてまいります。

運営方針として、6つのまちづくりを基本とし、主要な施策で目標を定め、個別政策で実施してまいります。

業が進んでいます。スマートインターチェンジへのアクセス道路については、飯田市によるインター周辺での道路整備も進み、座光寺上郷道路では土曾川を渡る管渠工事や、飯田線を潜るアーダールパス工事も始まりました。また、市場桜町線では、土曾川右岸で橋台工事も着工し、リニア本線長野県駅も昨年度より着工整備が進んでおります。リニア本線における環境対策（防音防炎フード）問題については、400メートルの非常時列車停止区間に6メートルの防音壁設置の受け入れにより、騒音の影響を受ける住民の皆さんの不安が解消されるよう、関係する方々の意向を踏まえ、事業者・関係機関に対して必要を要請を行ってまいります。

恒川史跡公園整備については、正倉院エリアの発掘調査が令和4年度にて完了しました。ガイダンス施設的设计及び建築整備が今年度より進められます。

エスバードへの新学部誘致については、信州大学からの新たな考えはまだ示されておりませんが、実現を目指し関係機関・団体と協力してまいります。

ドローンの活用では、防災訓練をはじめ、リニア関連工事により変わりゆく地域の姿を映像に残す取り組みなどを進めております。ふるさと応援倶楽部を中心に新たな活用方法の検討も

進めていきたいと思っております。

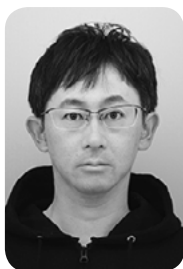
昨年度までの3年間は、コロナ禍による制限で、いろいろな事業が中止や規模縮小に追い込まれてきました。特に子どもたちからの開催希望が多かった夏祭りは3年間で中止、防災訓練は、一昨年は中止、昨年度は、飯田市全体での統一訓練は中止となり、地域として規模を縮小し、本部及び区本部での独自訓練を行いました。今年度はコロナ感染症が5類への移行を受けて、夏祭りをはじめ、すべての事業について通常の開催を検討しています。特に夏祭りは、子どもから大人まで楽しめる祭りになるよう、各委員会・団体などと協力して、7月29日（土）の開催に向けて、準備を進めております。

地域の皆さまの協力をいただきながら自治会活動を進めてまいりたいと思っておりますので今後ともよろしく願います。

クリーンな街、輝く笑顔、環境美化で実現

環境衛生委員会

委員長 松村 智則



スローガン

ごみのない美しいまちを目指す

指し、日頃から「捨てない」「落ちていたら拾う」運動を推進する。

1 集積所の管理

- ・地域住民と協力して、快適に活用できる集積所を目指す。
- ・アルミ缶回収事業基金等を活用し、集積所の修繕や改修を行う。

2 リサイクルステーション

- ・資源の有効活用を促すため、ビン・ペットボトル・アルミ缶等の回収事業を月2回実施する。

3 不法投棄監視パトロール

- ・年2回、春と秋のごみゼロ運動に合わせて、委員全体で不法投棄物の撤去作業を実施する。

- ・飯田市監視パトロール員1名、地区パトロール員5名による月1回のパトロールを実施する。

4 環境保全と快適な生活環境を実現するための企画・教育・啓発

- ・水生生物学習会にて子どもたちのための環境衛生学習会を実施する。

- ・文化祭にて地区のごみ分別状況やリサイクル啓発の展示を行い、地域住民の環境美化への関心を高める。

- ・チラシ等を活用し、ポイ捨て防止やゴミ拾い活動の啓発を行う。

・必要な箇所へ不法投棄防止看板

板及び、犬のふん放置禁止看板の設置を行う。

健やかに安心して暮らせるまちづくり

生活安全委員会

委員長 赤羽目 久子



生活安全委員会では、安全で安心して暮らせる地域社会を目指して活動して参ります。

重点事業として

1 交通事故防止の啓発

交通安全運動期間の人波作戦、生活安全パトロールによる子どもたちへの交通安全の呼びかけなどをします。

2 防火防犯対策

生活安全パトロール、防犯パトロールによる子どもの見守り、防犯灯の保守管理、消防団の訓練に参加し防火防犯推進を啓発します。

3 防災への備え

いつ起こるか分からない災害の備えへの意識向上と、いざ災害となった時に必要な物資の確保充実に取り組む体制を築いていきたいと思えます。

なお、前年度より考えております業務の効率化（除草支障木処理やカーブミラー清掃の委託等）で、委員数見直しなども提案して参りたいと思えます。1

年間よろしくお願いいたします。

健康、福祉の充実した 座光寺へ

健康福祉委員会

委員長 増澤 郁夫



コロナ感染の収束がみられ、感染対策を行いながらの健康福祉事業を実施し、高齢者・要介護者への見守り・支援を進めてまいります。重点事業は次の通りです。

1 一人暮らしの高齢者への声かけ訪問、いきいき広場、ふれあいサロンを通して地域の高齢者の引きこもり、体力低下などを防ぎながら地区の住民とのつながり、支え合い、見守り活動を進めます。

2 移送サービスでは公共交通機関を利用することが困難な高齢者・要介護者の移送を援助し、また運行する運転手を募集しています。

3 結婚相談事業は、結婚相談員と連携を取りながら結婚相談会・婚活イベントを通して「出会いの場」を設け、地域全体で結婚・子育てに関心をもって支援します。

4 見守り支え合い活動の促進として本年度より新たに「ごみ出し支援」をスタートし、ごみ

出し困難者へのご近所支え合い活動を応援するため「地域支え合い活動推進事業助成金」を活用し、隣近所・地域全体で高齢者の困りごとについて支援します。

5 「座光寺通いの場」についても検討に入ります。高齢者が住み慣れた地域において自立した生活を送ることができるように関係団体と意見交換しながらフレイル予防に効果のある「通いの場」の構築を検討するとともに、当事業に協力・参画していただける方を募集していきます。

6 健康推進に関わることであり、各種健康講座の開催、各種検診の推進、健康に関する委員研修を通して地域への健康や福祉について啓蒙活動を進めます。座光寺地域の皆さまと各団体のご協力・ご支援を頂きながら元気で楽しく暮らせる充実した地域づくり事業を推進します。

「地域の交流と親睦」を

大切に

公民館長 片桐 善昭



令和5年度の公民館委員会事業は、地域の変革期、コロナ禍を乗り越え、学習と交流が停滞

しないよう、みんなで知恵を出し合い、今後に繋がる新たなモデルを検討し、各種団体と連携し取り組んでいきます。重点事業として

1 「麻績の里体験学校」を企画し、健康で心身ともにたくましく、地域を愛する子どもの育成に寄与します。また、地域住民や保護者の積極的な参加を促し、その充実に努めます。

2 「運動会」「ニューススポーツ体験会」を企画し、地域住民の交流と親睦、健康づくりに努めます。

3 「地域学習」「地域づくりフォーラム」を企画し、地域課題の把握に努め、解決に向けて世代間・地域が連携しながら学び合う場とします。

その他、主な個別事業として「人形劇フェスタ地区公演」「座光寺人形劇まつり」「二十歳の集い」「芸能発表会を含めた「文化祭」他を開催予定です。

また、いきいき大学の教養講座の開設、乳幼児教室の実施、地域の変貌の記録と情報発信を行います。

誰もが気軽に参加しやすい事業を企画し、多くの皆さまの参加を待ちしております。



文化祭の様子

「麻績の里振興委員会」の

委員長 筒井 誠逸



「コロナで世の中が変わったか？」と言われれば、私は「大いに変わった」と言いたい。

特にボランティア活動である。当委員会のコロナによる3年間のブランクの後遺症はとも大

きい。役員の変更に伴う引き継ぎ事業の継承に多大なエネルギーを要する。

今年度の最初の事業である「桜まつり」でも、女子高や短期大学生の茶道部としての経験や実績が無いのが現実。

また、子ども桜ガイドも先輩からのアドバイスや体験者の減少による次の子どもへの引き継ぎが難しくなる点は、今から考慮しなくてはならないだろう。また、その他に価値観の変化から活動自体も変えていく時が来ていると感じる。

今年度は活動内容の見直しと共に組織の変更など、根本的な所から考えていく一年となりそうである。

現在活動している会員がより楽しく、より有意義に、生き生きと活動し、新しい会員も増え

て、まさしく「麻績の里」に少しでも活力を与えられる委員会に進化できるか、会員の一人ひとりと、地区の皆さまの協力が重要です。

水辺の広場で遊ぼう

水辺の広場委員会

委員長 大澤 義信



水辺の広場委員会の活動は、座光寺地域土地利用計画にもある水辺の広場ゾーンの活用のある方として環境を保全し、座光寺が持つ自然の場と理解し、その自然と触れ合い、地域住民の皆さんが楽しめる憩いの場所となる環境作りを維持しています。昨年度は、コロナ感染の拡大が収まらず活動内容を縮小しながら実施しました。

1 保全活用事業

鯉のぼり設置。地区の皆さんから寄贈頂いた鯉のぼりを4月下旬から広場で揚げました。地区の皆さまご協力ありがとうございました。

2 環境整備事業

水辺の広場の草刈り毎にゴミ拾いの実施（4回）。マレットゴルフ場周辺のアメシロ駆除消毒の実施（2回）。また、親子で楽しめる水辺の

広場での学習会（水生生物観察会）と、7月に川遊びを公民館育成部と合同で行う予定です。コロナ感染対策を取りながら実施します。大勢の子どもさんの参加をお願いいたします。

原点に立ち返り

麻績の里ふるさと応援倶楽部

委員長 湯沢 和行



座光寺では、多くのグループが様々な活動をしています。こうしたグループ同士が情報交換や連携して活動することで、お互いの取り組みが相乗効果を生み出し、元氣な座光寺につながるための仕組みづくりに取り組んでいます。参加する団体の「皆さまの声を聞き」「皆さまのアイデアにより」今年度は次の2点に取り組みます。

1 昨年度から新しいグループのドローンクラブが発足し、ドローンで地域の防災に協力していただけることになりました。他のグループと連携して地域を盛り上げていただくようなドローン活用を応援させていただきます。

2 座光寺ホームページは、各グループの情報発信隊員により発信され、毎年3万人の方々に

閲覧されています。今年度は発信数を増やし、さらに座光寺の魅力地域内外にお伝えしたいと思います。

地域の皆さんからの情報提供、情報隊員の皆さまのお力添えをお願いいたします。

今年度の重点事業について

歴史に学び地域をたずねる会

会長 田口 博人



1 国史跡の公園化事業について

現在、恒川官衙遺跡公園化事業が行われ、飯田古墳群の公園化事業も今後行われます。

当会では勉強会を通じて、地域、地元の意見や要望、思い等を飯田市教育委員会に伝え、私たちの思いを反映した公園化事業の推進を目指します。

2 国史跡指定について

舞台校舎、石川除の国史跡指定を座光寺地域自治会、麻績の里振興委員会、2000年浪漫の郷委員会と連携を共にして関係機関に働きかけを強くして国史跡指定を目指します。

3 座光寺「2000年浪漫の郷」作り

当会は「2000年浪漫の郷委員会」の座光寺「2000年

浪漫の郷」作りにできる限り協力と意見を述べてまいります。

4 その他

皆さまに地域を知っていただけるような、地域探訪・歴史講演会の開催を回覧とホームページでお知らせいたしますので、多くの方のご参加をお願いいたします。

また、座光寺小学校創立150周年で地域の方々から提供していただき、麻績史料館に展示してあった民俗資料を恒川地区の今村八束様宅の土蔵をお借りして展示しますので、準備が整いましたらぜひご覧いただくようにお願いいたします。

座光寺の魅力内外に発信

2000年浪漫の郷委員会

会長 牧野 光彰



◎浪漫の郷座光寺 案内人の活動充実

昨年度、コロナ感染拡大のため当委員会の活動も停滞を余儀なくされましたが、そんな中でも南信州観光公社主催のツアー客や各種団体など5件のガイド事業を実施し、浪漫の郷座光寺の魅力157名のお客さまに発信することができました。今年度はコロナ後の観光客の

増加等を見据え、南信州観光公社等との密接な連携の下、案内人の活動を一層充実させるためにガイド講習会・勉強会の実施、ガイド先進地との交流等を進めて案内人のレベルアップを図るとともにガイド時に使用できる地域内の共通マニュアル（ガイド資料）づくりに取り組めます。

◎地域探訪事業の実施

住民の皆さんに座光寺の自然・歴史・文化に触れていただくための地域探訪事業を歴史に学び地域をたずねる会、麻績の里振興委員会、公民館との共同開催で引き続き実施していきます。

特に、史跡や銘桜を巡る「スタンプ帳」を作成し、子どもさんや子育て世代の皆さんにも楽しみながら史跡等に興味を持っていたただく「健康ウォークラリー」などを企画します。

◎史跡・恒川官衙遺跡の公園整備を推進

昨年度は恒川史跡公園・清水エリアが供用開始となり、四日市にある「くるべ官衙遺跡」を視察し、様々な情報を得ることができました。

今年度は引き続き、ガイダンス施設について受け入れの研究を進めるほか公園整備事業で飯田市教育委員会と協働する中で、地域の皆さんの意見・要望を反映し、飯伊を俯瞰する立場

からの「浪漫の郷構想」の実現に向けて取り組んでいきたいと考えます。

◎「2000年浪漫の郷づくり」に地域一丸となつて活動

昨年度見直しを行った基本構想・基本計画（第3章）に基づき、引き続き「2000年浪漫の郷づくり」の実現を目指して、座光寺公民館のほか歴史に学び地域をたずねる会や麻績の里振興委員会をはじめとする地域の各団体等との連携・協力を進め、地域一丸となつての活動を展開していきます。

パノラマファームを

交流の場に

パノラマファーム大門

場長 長沼 豊



パノラマファーム大門は、座光寺で一番標高の高い農地で約1ヘクタールを維持管理しています。その見晴らしと景観の良さからこの2年間はOIDE長姫高校の生徒が地域人教育の場として取り上げ、一緒に活動をしてきました。そうした若い人の発想を大切にしながら進めてまいります。

◎渋谷りんごパーク

3年前渋谷区民と一緒に植えたりんごの木が育ち、昨年開園

しました。りんごの収穫、りんごを使った焼肉のたれ作り体験等親子を対象にした交流イベントを計画します。

◎ナンテン栽培

今年で3年目になる木は大きくなり実も付いて正月飾りに使える丈に育つと思います。

◎コスモス

イベントに合わせて斜面一帯にコスモスを咲かせたいと思います。

◎フジバカマ管理

アサギマダラがたくさん飛来してくれるよう手入れをします。

◎都市との交流

渋谷原宿はキャットストリートのほか7カ所の管理を地元の人といっしょに行います。奈良は苗木150本を育て、来年1月に植えかえに行きます。

より住みよい座光寺に していくために

土地利用計画運営委員会

委員長 正木 茂



令和4年度に座光寺地域基本構想・基本計画（後期計画）が策定されました。飯田市北部地域の振興に向けた考え方や飯田市のリニア整備効果を地域振興に活用し、まちづくりに関連す

るこれらの方針を踏まえ、文化・歴史・景観等を守り、地域の皆さんの協力やご理解を頂きます。次世代を担う皆さんに引き継いでいけるように取り組んでいます。

地域とのきずな

日赤奉仕団 座光寺分団

分団長 遠山 京子



日本赤十字社は民間の団体であり、皆さまからお寄せいただく日赤活動資金を財源として活動しております。

日赤活動資金募集、街頭募金、赤い羽根共同募金、海外たすけあい募金活動などを行っております。

物資共同購入あつせんの取り組み（年2回）、災害時のための非常招集訓練に参加するための炊き出し。救護活動を行うための救急講習会に参加、福祉施設での迎冬奉仕活動にも参加・実施して参りたいと思っています。

地域の安全・安心に込める、身近な赤十字活動として、災害時に自分の（家族含）身を守るとともに地域コミュニティで力を合わせて互いに助け合い地域

を守ることを、自治会・消防団と連携しつつ活動に努めてまいりたいと思います。

消防団令和5年度重点目標

座光寺消防団

分団長 細井 幸樹



◎火災予防の推進 地域での火災予防に積極的に取り組み、住民の火災防止意識を高めることで、火災発生件数の減少を目指します。

◎安全な避難の確保 火災発生時や自然災害が発生した場合に、迅速かつ適切な避難誘導活動を行い、地域住民の生命と安全を確保します。

◎迅速かつ適切な消火活動の実施 火災発生時には速やかに現場に到着し、迅速かつ適切な消火活動を実施することにより火災被害を最小限に抑えます。

◎緊急時における協力体制の確保 地域住民や自治体、その他関連団体と連携し、緊急時における協力体制の確保を図ります。

消防団員は能力向上のため訓練を行い、専門知識や技術の向上を図り、災害対応力を身につけます。消防団活動にご理解とご協力をよろしくお願いします。

初めての桜ガイド

座光寺小5年 今村 奏太

麻績の里ぶ台桜は、飯田市の天然記念物で日本に1本しか無いと言われる珍しい桜です。私たち座光寺の宝です。2年生の3月に、初めてガイドの練習に参加しました。コロナ禍だったのでガイド歴は3年だけけれど、お客さんにガイドをしたのは、今年が初めてでした。ガイドの後はいもできて、しっかりと教えてあげて、みんなでたくさんのお客さんに桜ガイドができました。

話かけるのはさんちようした

青空の水辺の広場に こいのぼり泳ぐ

水辺の広場委員会による、こいのぼり設置が4月23日（日）に水辺の広場にて行われました。

水辺の広場が子どもから大人まで楽しめる憩いの場になるようにと、平成22年からこいのぼりが設置されています。当日は晴天でしたが、風が強い中、約20人の委員の皆さんが参加して手際良くこいのぼりを飾り付けていました。

会長の大澤さんは「水辺の広場は座光寺の宝。この水辺に各家庭から提供していただいたこ

けれど、よろこんでもらえてうれしかったです。これからもガイドを続けて座光寺のことをたくさん知ってもらいたいです。テレビにもうつって、うれしかったです。



一生懸命桜の魅力を伝えました

いのぼりを、子どもの日に合わせて毎年設置しています。水辺にマツチしたこいのぼりを見ていただき、楽しく過ごしてもらえれば幸いです」と語ってくれました。（広報部）



ひとつひとつ丁寧に設置

東海道新幹線での 実例を挙げ 住民への説明会 開催

リニア騒音対策

リニア中央新幹線の騒音に対する「個別家屋対策に関する説明会」が5月1日(月)中河原会所にて開催された。

住民側は以前より、地上区間に防音防災フードの設置を強く求めていたが、JR東海・飯田市・自治会の3者は、下段地区での説明会や、騒音の影響が懸念される住民への意向調査を行った結果等を踏まえ、異常時列車停止区間の設置の必要性和下段の明かり区間への設置については概ねの理解が得られたと判断し、工事着手に向けて事業を進めることを確認したところである。(詳細はR5年3月に組合回覧・下段地区は各戸配布「リニア中央新幹線に関する環境対策の検討経緯と今後の進め方について」参照)

説明会は、騒音の影響が懸念される17軒の住民を対象とし、JR東海から騒音に対する個別家屋対策がどうなるのか、東海道新幹線での実績を例に

挙げての説明が行われた。住民側からは「一方的に決めずに、犠牲者のような立場にある我々の意見を汲み取って検討してもらいたい」との発言があった。個別家屋対策については、これまでも住民から意見要望が出されており、それらを整理して今後、JR東海と協議することが望まれている。(広報部)

晩春の 優雅なひと時 麻績の里桜まつり

4月8日(土) 9日(日)に麻績の里舞台桜の周辺で、麻績の里桜まつりが開催されました。今年は桜の開花が早く、花びらが散ってしまったため、桜まつりでの、子ども桜ガイドと観桜呈茶(お茶席)は中止となり、当日は売



飯田女子高校邦楽クラブによる琴の演奏

店・南本城たんけんウォークラリー・飯田女子高等学校邦楽クラブによる演奏が行われました。

ウォークラリーには、地元の小学生の他、県外の観光客など27人の参加があり山城の散策を楽しんでいました。売店のお菓子やお茶でひと休みする方、琴の音色に耳を傾ける方など、訪れた皆さんはまつりを楽しんでいました。

麻績の里桜まつり実行委員長の筒井誠逸さんは「今年は開催日に桜が散ってしまい残念。開催日を決めるのがとても難しい。開花に合わせて開催できる方法を検討していきたい」と語ってくれました。(広報部)

受講者大募集

古文書講座

歴史に学び地域をたずねる会と公民館では、「古文書が読めたら世界が広がる」を合言葉に古文書講座を共催しています。この講座は、飯田市歴史研究所の羽田真也さんを講師に迎え、令和3年9月からスタートしました。毎月第3金曜日の19時から開講しています。6月から令和5年度



座光寺に残る古文書を紹介する羽田さん

の講座が始まるため、受講者を募集します。

羽田さん「古文書初心者の方でも気軽に参加できる講座として、6月から新規受講者を募集します。座光寺に残る古文書をゆっくりわかりやすく、みんなで読んでいきたいと思いますので、今まで受講された方、新しく受講される方、皆さん奮ってご参加ください」(談)。

新しい趣味として受講してみてはいかがでしょうか。

(広報部)

センター職員の異動

〔転入〕

公民館主事
竹村 郁哉

(商業観光課)

〔転出〕

公民館主事
塩沢 未来

(下水道課へ)

保健師
堀内美由貴

(龍江自治振興センターへ)

令和5年度地区長名簿

(地区) (氏名)

宮の前	藤本浩司	宮の崎	今牧正則	共和	星野利宏	下羽場	原田昌和	中河原	松島勝義	中羽場	櫛原弘	欠野	今村重一	河原	松村治	高岡	内川清水	清水	正木利幸	恒川	渡邊誠	市場通り	北原道成	北市場	神谷学	上野	吉澤克己	上野新町	薬師寺剛	万才	上沼善和	菅沼賢次	宮崎	篠田勝美	大堤	古瀬良武
-----	------	-----	------	----	------	-----	------	-----	------	-----	-----	----	------	----	-----	----	------	----	------	----	-----	------	------	-----	-----	----	------	------	------	----	------	------	----	------	----	------

令和4年度座光寺地域 自治会表彰

4月28日（金）座光寺公民館において自治会表彰の授賞式が行われ、今回は岩井美季様、木下秀司様（故人）の2名が受賞しました。（順不同）

岩井美季様

2期4年にわたり飯田市スポーツ推進委員として、飯田市及び座光寺のスポーツ推進に尽力されました。

岩井美季様より

スポーツ推進委員など、多いときは15個もの地域の役割を兼務した事もあり、地域のお役に立つ事ができて良かったです。

スポーツ推進委員の任期中



木下秀司様（故人）

長年にわたり座光寺地域の史跡の保全と整備及び史跡のガイドに献身的に尽くされました。

ご子息 雅司様より

父は昔の物が大好きで、土器の破片を拾い集めるのが大好きな子どもだったそうです。

生前は高岡の森の清掃活動や維持管理を行い、座光寺の歴史遺産をとて大切にしており、現在整備が進む史跡公園の完成を楽しみにしていましたが、不慮の事故で亡くなつてしまい、本日の授賞式に本人が参加できなかったことはとても残念です。

史跡公園が完成したら、かわいがっていた孫がそこで遊ぶ姿を見守ってもらえるのではないのでしょうか。

令和4年度 地域自治会決算

【収入の部】

（単位:円）

予算区分	金額	説明
会費	12,096,336	個人会費、法人会費
消防協力費	1,271,600	
補助金	11,312,050	市県からの各種補助金
負担金	760,542	会議参加者負担金、コミュニティ助成負担金
繰越金	10,770,706	令和3年度繰越金
雑入	200,597	桜クリアファイル、ガイド料他
合計	36,411,831	

【支出の部】

（単位:円）

予算区分	金額	説明
報酬	990,000	自治委員報酬
諸手当	1,743,865	各種委員手当
賃金	915,051	会計事務補助賃金
報償費	484,360	地区役員報酬他
旅費	958,990	地域外会議参加費、研修旅費他
交際費	125,180	祝儀他
需用費	1,021,987	消耗品、印刷製本費、会議費他
役務費	400,606	保険料、手数料、郵送料他
使用料・賃借料	5,500	貸金庫使用料
原材料費	0	
地域振興費	7,461,103	特別委員会、小学校150周年事業、歴史史料整備他
各委員会費	5,840,000	環境衛生、生活安全、健康福祉、公民館
施設整備、管理費	1,307,108	麻績会館光熱水費・wi-fi、公園遊具撤去他
備品購入費	181,000	ドローン
負担金、補助金及び交付金	3,638,200	自主防災会、各区連絡会、消防団他
積立金	0	公共事業基金
予備費	409,112	コミュニティ助成事業
合計	25,482,062	

令和5年度 地域自治会予算

【収入の部】

（単位:円）

予算区分	金額	説明
会費	16,100,000	個人会費、法人会費
消防協力費	1,300,000	
補助金	8,905,790	市県からの各種補助金
負担金	304,000	会議参加者負担金他
繰越金	10,929,769	令和4年度繰越金
雑入	40,441	利子、祝儀等
合計	37,580,000	

【支出の部】

（単位:円）

予算区分	金額	説明
報酬	990,000	自治委員報酬
諸手当	1,775,500	各種委員手当
賃金	1,120,000	会計事務補助賃金他
報償費	558,000	地区役員報酬他
旅費	2,900,000	地域外会議参加費、研修旅費他
交際費	350,000	祝儀他
需用費	1,250,000	消耗品、印刷製本費、会議費他
役務費	538,000	保険料、手数料、郵送料他
使用料・賃借料	100,000	貸金庫使用料他
原材料	50,000	碎石他
地域振興費	12,923,700	特別委員会、夏祭り、歴史史料整備他
各委員会費	5,608,500	環境衛生、生活安全、健康福祉、公民館
施設整備、管理費	1,900,000	マレットゴルフ場、麻績会館他
備品購入費	350,000	事務機器他
負担金、補助金及び交付金	4,270,000	自主防災会、各区連絡会、消防団他
積立金	0	公共事業基金
予備費	2,896,300	
合計	37,580,000	

天井川

座光寺の天竜川面を
南北に走る道路

市道座光寺33号線。上郷方面から走ると、坂道を登って土曾川を渡る。渡ると坂を下り、少し行くと喬木方面(阿島橋)との交差点、消防署の前を通って北上し、また坂道を登る。南大島川を渡るとまた坂を下る。「坂の上に川が流れているの？」不思議に思いま

せんか？

天井川って

みなさん、天井川って知っていますか？ 地域を流れる川の「底」が周りの土地よりも高い川のことです。「そんな川あるの？」そう言われたことがある。川は周りの水を集めて、下流に流れるもの。…低い所を通るのが常識で、排水の役割をするものだ。ところが川底が周りの土地よりも高い川が座光寺には2つもある。



土曾川河口(天竜川合流地)から上流を見る。中央が土曾川左岸堤防、左に土曾川、右が天竜川面の水田地帯。堤防の上から左の川底まで約1.5 m。右の水田までは高さ約2.3 m。水田の方が低い。遠くに見えるのは座光寺富士。



欠野川が土曾川の下を流れる。正面は上に土曾川、下に欠野川のトンネル。これも珍しい。天井川になったため、川の立体交差で天竜の増水時の逆流を防いでいる。

土曾川と南大島川

この2つは座光寺の南北に位置する最大の川である。この天竜川面(天竜川がつくりだした平地)を流れる部分が天井川状態だ。写真はその様子。川底面が周りの田んぼ等よりも高いことがわかるでしょう。

川と周りの平地を比べることは難しいものだが、道路を走るとその状態が分かる。これが天井川である。でも「なんでこんなことになるの？」。

天井川は全国にある

天井川は全国にたくさんある。それも稲作文化が古くから栄えた所にある。日本に大陸からイネが伝わって弥生時

代になった。稲作の富は食糧を確保しただけでなく日本の社会のあらゆる部分に変化をもたらした。これは中学校社会科で学ぶこと。稲作は水を確保することが絶対である。山等から水を引いてくると、水は土砂も運んできて、平野部で川底を埋める。浅くな

なった川を静かにさせ、水を田んぼにスムーズに引いてくするために、土手・堤防を高くする。この繰り返しで川は周りよりも高くなっていく。天井川は稲作が栄えた平野と山との間にできる。

座光寺の弥生遺跡

座光寺の古代史を調べると縄文時代(前13,000)9,500)、弥生時代(前2,200)1,950)だ。座光寺の弥生遺跡は大門原など7カ所(山下清一2000)。そして弥生後期に段丘上で爆発的に人口が増えたという(神村他1967)。この間に天井川ができたのだでしょう。

(伊那谷自然友の会 小林正明)

編集後記

「修学旅行楽しかった。また行きたい。」修学旅行から帰ってきた中3息子の第一声である。小学校の修学旅行が新型コロナウイルスにより中止となり、確実にやる気が抜けていくのを見てきた親からすると、ほっとする瞬間であった。

修学旅行といえば、子ども時代の楽しい思い出ナンバワンといっても過言ではないイベントである。30年ほど経過している私の記憶でも、タクシーでの班行動や、京都の夜の枕投げなど、たくさん思い出すことができる。そんな経験ができるように中学校の修学旅行は行かせてあげたいと思っていたところ、コロナ前と同じように実施されることとなった。どこのお寺を参拝するか、お土産は何を買うかと、事前準備で楽しそうに悩んでいる様子を見て、ようやく日常に戻るんだなと感じた。

今まで当たり前のようになってきたことができる幸せを実感しながら、コロナに対して油断をせずに生活していきたい。(広報部 原田)

